

山口ひろゆき 活動レポート

長生村議会議員
キラリ輝く
長生村を!



こどもたちに輝く未来を!



HP &
E-MAIL

事務所 〒299-4332
千葉県長生郡長生村金田 2,873
電話 (FAX) 0475-32-1590
ホームページ <http://www15.plala.or.jp/hiroyuki/>
E-mail y-hiroyuki@zpost.plala.or.jp

発行 山口ひろゆき後援会
責任者 会長 芝崎 周一
印刷 株式会社 豊文堂

特集

【福島は今】

8月18日

阿弥陀寺住職が

当時を振り返る

南相馬市「浄土宗阿弥陀寺」住職の藤原英雄氏に、2011年3月11日14時46分に発生した「東日本大震災」と「福島第1原発事故」から今日までの経過についてお話を伺いました。

震災による原発事故により、30キロ圏内の住民に支給された10万円の支援金をめぐ



線量計を示し解説する阿弥陀寺住職

り、圏外と言っただけで、援助を受けられない地元住民の不満。

パチンコなどで浪費する避難民への非難など、人間関係の不信と悪化。

政治による線引で住民感情のツケを被災者に負わせる政策は、あってはならないと感じたそうです。

つらかった

あの一言

住職の立場では、震災により、一度に例のない葬儀を執り行ったこと。

境内にあるお墓のほとんどは倒壊し、燈籠等は完全に倒壊してしまってもつらかったこと。

しかし、住職にとって最も心を痛めたのは、「震災で儲けたのはお寺だけだ」と言われた、心ない住民の一言は、今も忘れられないと言います。

消えぬ風評被害

放射線量の測定値が基準値内の農作物。

「安全」のお墨付きがあっても福島産というだけで今も

敬遠される現実。

一度立った風評を払拭する

むずかしさを痛感。

自然の恵みの山菜やキノコなども、今でも食することはできないそうです。



南相馬市南宇田地区の「奇跡の一本松」



境内に凜と立つ推定樹齢600年の大銀杏



原発事故後用を足さない広大な田園地帯

心にしまい込む

絶望感

三県にまたがる震災の爪痕は、想像を絶した原発事故と合わせ、東京電力や当時の政府の幾重となる失態と、遅々として進まぬ現状に、住民は、復興への不安をつのらせるばかりです。

しかし、絶望感や喪失感を胸の奥にしまい込み、現実を見据え、懸命に生きる被災者の姿に未来への光明を見ることができました。



老人施設跡、生命の明暗を分けた地点



津波に破壊されたままの防潮堤

復興に一役かって

住職には、被災状況の細かい説明と、また、被災地へも案内していただくなどとても感謝しています。

他県からの視察者を快く受け入れ、精一杯復興に向けて努力される姿にも感銘を受けました。

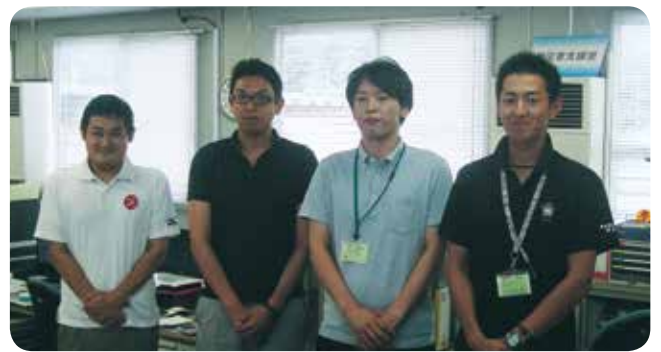
道の駅で買ったお米の味は、いちだんとおいしく感じました。

職員奮闘記

本村の職員である長谷川敦君(写真左から二人目)が、宮城県山元町仮設庁舎の「被災者支援室」へ派遣され、被災者の支援業務に奮闘しています。

同じく山元町に派遣された長生郡市内6市町の若い職員たちと寝食を共に、力を合わせ山元町の復興に向けて頑張っていました。

派遣されたみなさんは、この経験をもとに、大きく成長して帰ってくることでしよう。



同じ釜のめしを食べて市町村の絆を

議会を傍聴してみませんか。

議会定例会9月会議が、9月17日から開会します。

弁護士による

無料法律相談

日時 9月20日(土)13時
場所 山口ひろゆき宅
電話 FAX 32-1590

***より良い解決のため、相談内容を事前にお知らせ下さい**

(留守番電話のときは、メッセージをお願いします)

編集後記

広島のと蛇谷が起きた一帯は「八木蛇落地悪谷」(やぎしゃらくじあしたに)とよばれていたという。

昔は蛇が降るような水害が多かったため、悪い谷・悪谷と名がついたそうです。

130年つづく浄菜寺の住職によると、竜がいて、その首をはねたところから「蛇落地」とついたという。

八木蛇落地悪谷が八木上楽地芦谷と改名され、さらに今は八木だけが残ったそうです。名前が変わるうちに「土砂崩れ」の教訓も忘れ去られたらしい。

東日本大震災の時もそうだが、史実に基づいた、言い伝えを守る大切さを改めて思い知らされたのではないだろうか。

大地震や、異常なまでの豪雨に遭遇したら、覚悟を決め、指示を待たずに自ら避難行動をとることが命を守る第1条件です。

たとえそれで家や財産を失うことになろうとも。

M・T

※「意見・感想を
お聞かせ下さい。」